

現代茶ノ湯スタイル展 「縁」(えにし)

期間限定の「現代茶室空間」が登場！

西武渋谷店では、10月4日(火)より、〈現代茶ノ湯スタイル展「縁」〉と称して、茶ノ湯と現代アートを組み合わせた新しいライフスタイルを創出するイベントを開催します。

茶ノ湯の世界では古くから縁(えん)というものがとても大切にされており、「はじまり」「紡ぎ」「創造」の源であると考えられています。今回、「縁」(えにし)をテーマに、モダンな茶ノ湯の世界観を体験していただきたいと思っています。気鋭の茶道家と現代アートの出会い、そして創造、現代茶室空間のしつらえと共に、茶人のお点前を含めた茶ノ湯の総合芸術としての愉しみ方を提案します。

タイトル: 現代茶ノ湯スタイル展 「縁」(えにし)

会場: 西武渋谷店 B館5階ネクストスペース、8階オルタナティブスペース/ギフトギャラリー

会期: 2011年10月4日(火)~10月24日(月) ※B館8階は23日(日)まで

■B館8F オルタナティブスペース

総合演出に茶道家の松村宗亮氏、空間設計には数寄屋大工の佐野文彦氏を起用し、期間限定の〈現代茶室空間・輝光庵〉(きこうあん)が登場。煌びやかな竹林をイメージし、随所に現代アートを配置。前半は『野点』をイメージした畳の席で、後半は『立礼卓』(りゅうれいたく)で、新しいスタイルの茶ノ湯を提案します。新進気鋭の陶芸家約20名のネオ茶道具を使用し、wagashi asobiの和菓子をご賞味いただきながら、現代のライフスタイルにあった新しいお点前を愉しんで頂けます。(呈茶体験は無料/下記トークショー後に整理券配布/毎週土日、14時半~17時までの各日5回/各回3名様/予定)

■B館5F ネクストスペース

「現代茶ノ湯」へのアプローチとして、これまでの茶道に付加するイメージで「衣」(着物)、「食」(和菓子)、「住」(華道家や数寄屋大工など)、「道具」(陶芸や茶道具)や「現代アート」などを紹介し、今まで茶道に関心なかった方や茶道に敷居の高さを感じていた方にも、ライフスタイルの中にカジュアルに溶け込む茶ノ湯スタイルを提案します。また、茶人 近藤俊太郎氏による「宇宙十職」や「育てるうつわプロジェクト」などを紹介するほか、これから茶ノ湯を始めたい! という方にやさしい現代茶ノ湯スターターキットの販売も行います(松村宗亮監修お点前指南書付き)。週末は現代茶ノ湯に関わる茶道家や現代アーティストによるトークライブ(毎週土日、各日午後1時~)を開催します。

■B館8Fギフトギャラリースペース

現代陶芸家による茶碗と茶道具、現代茶室空間を演出するオブジェなど、「ネオジャポニズムかつアバンギャルド」をテーマに集めた作品を紹介。

陶芸家: 二階堂明弘、金理有、伊勢貴俊、石井隆寛、浅井竜介、田中雅文、宇宙十職作家販売、SHUHALLY 作家販売(敬称略)

【各人プロフィール】

SHUHALLY 松村宗亮: 「茶道をもっと楽しく自由に!」をコンセプトに、「茶」の文化を通して日本の伝統を見つめ直し現代のライフスタイルに合わせ再生して提案する。グッドデザイン賞を受賞した茶室を持つ。写真右
アバンギャルド茶会 近藤俊太郎: 宇宙十職という現代陶芸家のプロデュースやカジュアルな茶会を提案。最近「くい呑点前」を考案、「育てるうつわプロジェクト」も進行。同世代の若者が気軽に茶道と接する場を提供。写真左
Studio PHENOMENON 佐野文彦: 京都中村外二工務店にて数寄屋大工として弟子入り、その後建築設計を学ぶ。物各々が持つ個性を引き出す事をテーマに建築のみに留まらない表現を続けている。

wagashi asobi 稲葉基大・浅野理生: 「一瞬一粒(ひとつひとつ)に想いを込めてつくる。」を理念に、新しい可能性を探り色々な世界で活躍する人と wagashi を介して asobi という活動をする職人二人による創作和菓子ユニット。

fdN.F 大久保文之: 「ニッポンを伝え、ニッポンを愉しむ。」国内外問わず、展示・パフォーマンスをプロデュース。自身も1937年創業の豊職人・三代目を襲名。



お問合せ: 西武渋谷店 販売促進部 広報 水田 今野

tel: 03-3462-3155 fax: 03-3462-3022